

# 伴走支援で自立サポート

## スイッチ・地域企業での体験など提供 イシノマキ

心の不調を抱えた人の自立支援などを行うNPO法人スイッチ（高橋由佳理事長）が12日、障害福祉サービス事業所「スイッチ・イシノマキ」を石巻市鑄銭場に開所した。学習や職業体験の機会を一人一人に合わせた形で提供し、就職や復学など、利用者の目標達成に向けていく。

同法人は平成25年から石巻市鑄銭場で思春期や青年期の若者などの自立支援施設「ユースサポートカレッジ石巻NOTE」を運営。新たに開設した。

心の不調と向き合い、生活を取り戻そうという人に、よりじっくりと多様な選択肢を提供するため、同事業所を新たに開設した。

特徴の一つはサポート計画の柔軟性。精神保健福祉士や社会福祉士などのスタッフが相談を行った上で、計画

事業所の利用対象者は主に精神科、診療内科などに通院し、自立のための就職や就学、復学などの希望を持つ18歳以上の人。通所を基本とし、自立した日常生活を営むための支援といった生活訓練を行う。

サポートのプログラムは職場体験やパソコン講座、コミュニケーション講座、スポーツなど多様。特に、積極的に地域に出ることに重きを置いており、職場体験では市内の企業が協力する。工場での作業や農業などが体験



一人一人の目標に柔軟に対応し寄り添う管理者の田口さん（写真奥）

800円前後が基本。月単位では9300円が上限となっており、生活保護受給者などは無料となる。

同事業所管理者の田口雄大さんは「利用者一人一人に柔軟に対応できることが強み。人対人として関わりながら、多様なニーズに添えていきたい」と話していた。定員は20人。開所は平日の午前10時半～午後4時半。随時個別説明会も受け付けている。問合せは同事業所（24-6512）まで。



建設部長 大澤 喜雄 さん

道路、都市計画など7課2室からなる建設部は公共施設や建物の災害復旧や維持修繕、工事発注・

監督などを担う。復興事業の本格化で他の部署から移管される事業が増え、庁内で最多194人の職員を束ねる。

南北避難道路の渡波稲井線と石巻工業港運河線、東西交通軸となる釜大街道線、鎮守大橋、東内

年度を目標に完成させる。地盤沈下による雨水排水対策も急務だ。課題は用地取得で、市民の協力が欠かせない。「避難道路などは安全にかかわるので、他の部署や民間の力を借りながら一刻も早く進めなければならない。

復興事業の早期発注に全力で取り組み、工事を目に見える形にして安心につなげたい」と気を引き締める。

技術職として採用され、下水道関係が約20年と長い。道路課長にあった震災時は、避難所までの道を開くための重機の手配に奔走した。鹿妻南に母、妻、長男と暮らす。59歳。

# 復興へ全力投球

## 工事を目に見える形に

海橋など新設の道路事業が目白押し。通常の30年分という膨大な事業量であるが、いずれも平成30

相談や技能の取得、必要な支援機関の紹介などを進めていく。費用は前年度の所得で異なるが、市による負担を差し引き1日

住宅資材総合商社の（株）山打石巻市潮見町は15日に開いた取締役会で、石川寛猛社長が退任し、木村昭俊常務取締役管理部部长（58）を昇格させる役員人事を内定した。6月26日の定時株主総会

と取締役会で正式決定する。



社長に内定した木村氏

## 連勝は5でストップ 東北社会人サッカーリーグ1部 女川先制も追いつかれる

東北社会人サッカーリーグ1部の第6節が18日に行われ、開幕から連勝を続けてきた2位のコバルトレ女川は、ホームの石巻市フットボール場で3位のラインメール青森FCと対戦

という目標は変わらなず、ここから勝ち続けるだけ」と語った。次戦は24日午後1時キックオフ。ホームの女川町民第二多目的運動場に8位のFCブリメーロ―福島県郡山市を迎える。

第86回都市対抗野球大会 日本製紙石巻 29日から2次予選 出て勝